

地域風景資産 + 風景づくり活動

大解剖

地域風景資産ってどんなものがあるのか？

風景づくり活動って、どんなことを
行っているのか？

具体的に紹介します！



① 池尻稲荷神社を中心とする旧大山道



② 双子の給水塔の聳え立つ風景



③ 玉石垣のある風景



④ 心なごむ桜丘の原風景



⑤ 経堂の西洋館と庭



⑥ 代沢せせらぎ公園と北沢川緑道



第1回選定 地域風景資産

(平成 14 年・36 カ所)

⑬ 谷沢川の桜並木



⑭ 用賀プロムナード



⑮ 園芸高校の並木とみどり空間



⑯ 森の児童館



⑰ 富士見橋より見た富士山の見える眺望



⑱ 等々力駅近くの寺社かいわい



⑳ 喜多見大橋から見た野川上流の眺め



㉑ 慶元寺三重塔の見える風景



㉒ 成城三丁目緑地



㉓ 成城の近代住宅



㉔ つりがね池と樹林

































㉕ 季節の野草に出会う小径



詳細な場所は、56～57ページに掲載しています
※写真はすべて選定された時点のものです

第2回選定 地域風景資産
(平成20年・30カ所)

- | | | | | | |
|--|---|--|--|---|---|
| <p>1 北沢地域に隠れている石造物群～茶沢通り(旧二子道) 界隈～</p>  | <p>2 羽根木公園にある羽根木プレーパーク(豊かな緑の中で遊ぶ子どもたち)</p>  | <p>3 代田の丘の61号鉄塔</p>  | <p>4 三宿の森緑地</p>  | <p>5 大ケヤキのある円泉ヶ丘公園</p>  | <p>6 太子堂八幡神社と森</p>  |
| <p>7 登録有形文化財の萩原邸</p>  | <p>8 元気でやさしい松陰神社通り</p>  | <p>9 若林3丁目緑の小道</p>  | <p>10 旧・新町住宅地の桜並木</p>  | <p>11 四季の移ろいに心ときめく安らぎの道「櫻並木と呑川緑道公園」</p>  | <p>12 九品仏浄真寺脇(南側)のクロマツの並木</p>  |
| <p>13 奥沢海軍村ゆかりの風景</p>  | <p>14 歩いて楽しい北沢川緑道(豪徳寺1丁目)</p>  | <p>15 古道・滝坂道</p>  | <p>16 長島大榎公園界隈の緑</p>  | <p>17 ほっとやすらぐ世田谷線界隈の情景</p>  | <p>18 せたがやボロ市が開催される大山道</p>  |
| <p>19 大正ロマンをのこす玷浄水場ポンプ室</p>  | <p>20 水辺の自然とふれあえる蘆花恒春園「みんなのたんぼ池」「やこの家校」</p>  | <p>21 祖師谷公園</p>  | <p>22 成城の桜並木といちょう並木</p>  | <p>23 喜多見ふれあい広場から見た「野川と国分寺崖線の纏まった緑」</p>  | <p>24 成城の富士見橋と不動橋</p>  |
| <p>25 成城3丁目の国分寺崖線の樹林</p>  | <p>26 成城3丁目桜と紅葉の並木</p>  | <p>27 仙川・川面に映る桜並木道(打越橋～石井戸橋)</p>  | <p>28 喜多見・歴史の道～慶元寺・氷川神社界隈</p>  | <p>29 畑の間の土の道</p>  | <p>30 須賀神社とムクノキ</p>  |

- | | | | | | |
|---|---|---|--|---|--|
| <p>7 校庭で子どもたちを見守る松の木</p>  | <p>8 桜上水の野菜畑</p>  | <p>9 松林と大榎のある世田谷新町公園</p>  | <p>10 呑川親水公園</p>  | <p>11 秋山の森と旧秋山邸</p>  | <p>12 清明亭</p>  |
| <p>19 等々力7丁目荒井家・鈴木家かいわいの巨樹群</p>  | <p>20 大ケヤキのある散歩道-けやき道</p>  | <p>21 国分寺崖線を眺められる多摩川堤</p>  | <p>22 静嘉堂緑地の自然林</p>  | <p>23 岡本の富士見坂-岡本3丁目の坂</p>  | <p>24 喜多見五丁目竹山市民緑地の竹林と垣根</p>  |
| <p>31 蘆花恒春園花の丘</p>  | <p>32 祖師谷中橋</p>  | <p>33 上北沢駅前の桜並木</p>  | <p>34 「山本農機・山本善水商店」を中心とした日甲州街道の街並</p>  | <p>35 世田谷の小京都-釜六の天水桶</p>  | <p>36 松葉公園</p>  |

活動体験レポート

風景づくり活動って、どんな活動？3つのチームが、地域風景資産で活動を行っている現場に参加し、体験レポートを行います。

「まち歩きを通して 風景のイメージが膨らみました」

活動人チーム、「北沢川文化遺産保存の会」で文学まち歩き

地域風景資産「代田の丘の61号鉄塔」を中心に下北沢界隈で活動する「北沢川文化遺産保存の会」。地形や文学からまちを読み解き、風景の価値を語り広めるまち歩きは、地域風景資産の活動の中にあって、異彩を放っています。

今回は、同じく地域風景資産で活動を行っている活動人チームが、そのまち歩きを体験レポート！



↓ 代田橋駅から出発！
今のお題、「代田半島」はどんな形？

歴史物語を聞き、
地形を感じながらまち歩き

地形を考えながら歩くことの面白さを堪能！



代田の台地は、「海に突き出た半島」のように、北沢川およびその支流の低地に囲まれています。この日のまち歩きは、地形に着目。起伏を感じて、代田半島の形を探ることに…。

下北沢から代田のエリアは、京王井の頭線と小田急線が交わる利便性の高い地域。多くの文化人が住まい、教会も密に立地。文化の集積地として賑わってきました。武蔵野の面影が残る玉川上水沿いや緑道、街角の神社や教会、文士のゆかりの地をたどります。



🕒 61号鉄塔のふもとの北沢川緑道で締めくくり。さて、「代田半島」の形は…？

📍 グループの拠点で、インタビュー

大正時代にできた61号鉄塔は、代田半島の突端にそびえます。ふもとに居を構えた詩人 萩原朔太郎の存在を伝える唯一現存する風景です。お題の答えを聞いて、61号鉄塔に、代田の伝説の巨人「ダイダラボッチ」が重なって見えたのです。



答えは、まち歩きに参加して発見してね！



まち歩き後は、グループの拠点である喫茶店での団らんがいつものコース。「一人で歩くのも楽しいけれど、みんなで歩くと知識も、まちのイメージも膨らみます」とのご意見に共感！

北沢川文化遺産保存の会のメンバーの方たちは、実存風景と心象風景と時空を超えた風景の織りなす世界に誘う「語りべ」のよう。熱のこもったお話に、すっかり引き込まれました。

地域にひそんでいる伝説や文化を、まち歩きを通して探り、イメージを膨らませながら掘り起こしていく。風景づくり活動の大切なエッセンスを感じたまち歩きでした。

この日のまち歩きは、知的で楽しい「脳内風景づくり活動」でした！
活動人チーム



「人のぬくもりまでも 感じられる風景だと思いました」

区役所職員2年目チーム、
「船橋小径の会」で土の小径に触れる

千歳船橋駅から歩いて10分ほどのところに、地域風景資産「季節の野草に出会う小径」があります。言われないと通り過ぎてしまいそうな、舗装されていない300mほどの細い土の道です。ここでは、主婦の方を中心とした「船橋小径の会」が活動しています。

今回は、世田谷区役所職員2年目チームが、小径の手入れと小径工房活動を体験レポートします。



「 早速、小径での手入れ作業を体験

原風景を思い出せるように、明治の中頃まで武蔵野にあった植物を中心に植栽を管理しているそうです。残さなければいけない植物はどれ？ 剪定は会の方に確認しながら慎重に…



「 小径工房活動にチャレンジ！ まずは、小径の植物で糸づくり

小径で剪定したヤブマオを裂いて、糸の原料を採取。この糸を使って織物にもチャレンジされているから驚きです。



小径にある木にかける ネームプレート作りにも挑戦！

細かい作業に、子どもに戻ったかのように夢中になってしまいました。



「 最後に、会の方へインタビュー

「私たちは小径の自然にお世話になっていて、この会の活動によって恩返しをしている」という言葉がとても印象的でした。



本当に楽しそうに活動されている「船橋小径の会」のみなさん、ありがとうございました！



活動を体験してみて、地域風景資産の取り組みとは風景づくりだけに留まらず、その風景をつくり、守ろうとする人々によって地域のネットワークが形成され、現代社会において少し希薄になりつつある人のぬくもりまでも感じさせてもらえるものだと思いました。

約300メートルの小径の中では、その自然を守る人々のさまざまな思いや自然が人々に与える力が共鳴し合い、魅力的な空間を作り上げているのだと思いました。

緑の魅力、人の魅力を知り、ますます世田谷区が好きになりました！
世田谷区役所職員2年目チーム



「風景づくりは、一人ひとりの願いの積み重ねから始まると感じました」

国土舘大学3年生チーム、
「コマQ」と年に1度の給水所見学会

桜新町駅から歩いて5分。水道道路の突き当たりの豊かな緑の間に垣間見えるのは、地域風景資産「双子の給水塔が聳え立つ風景」。「駒沢給水塔風景資産保存会」、通称「コマQ」が活動しています。

今回は、国土舘大学3年生チームが、普段は非公開の給水所で行われた、年に1度の見学会を体験レポートします。



1 スタッフ集合。わくわくしながら受付準備

私たちを明るく迎えてくれたコマQのみなさん。見学会を誰よりも心待ちにされていたのでしょうか。わくわくドキドキが伝わってきます。早くから受付を待っている参加者の多さにも、期待の高さが目に見えるよう…！



2 見学会開始。親子で興味津々！

見学会は、一般向け2回、小学生向け1回。小学生は、珍しいもの見るように熱心にメモ！コマQの方の分かりやすい説明に、保護者の方も熱心に耳を傾けています。



3 年寄りのサポートも

昔から給水所付近に住んでいらっしゃる90歳のご婦人に付き添って見学。子どもの頃は敷地の中に入ってよく遊んでいたそう！地域に長くお住まいの方には懐かしく、その他の方には珍しい場所なんですね。



4 片付け後、会の方へインタビュー

王冠をのせた双子の給水塔の魅力は、設計者の遊び心。そして、給水所が公園や記念館となれば…という大きな夢を語っていただきました。実現したら、私も行きたい！

区内に住んでいながら、今まで給水塔のことを全く知りませんでした。外からはあまり見る事が出来ないのも、このような見学会は地域の人に知ってもらうためには、とてもよいと感じました。子どもたちにも見学会に来てもらうことが、今後ずっと給水塔を残していくには必要なことだと思いました。

風景づくりは、地域の方一人ひとりの願いの積み重ねから始まり、協力し合い、活動を通して実現されるものだと思います。

給水塔の良さを、見学会で伝えたいという、みなさんの気持ちが伝わりました
国土舘大学3年生チーム

